



社協だより 夏号



【地域福祉課地域グループ】子どもから高齢者まで、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、居場所づくりや介護予防活動、ボランティア活動の支援に取り組んでいます。4月からは市の重層的支援体制整備事業を一部受託し、地域のみなさんとともに支え合いの輪を広げる活動を進めています。

もくじ

地域福祉課地域グループ 特集 …… 1
特集①みんなで支え合う地域づくり …… 2・3
CSW・重層的支援体制整備事業の取り組み

特集②生活支援体制整備、…… 4・5
地域支えあい訪問型サービス、
地域ふれあいデイサービス

令和7年度事業報告・決算報告 …… 6・7
寄附・寄贈の贈呈式 …… 8
寄附御芳名／寄贈一覧／Vbox



みんなで支え合う地域づくり

CSW(コミュニティーソーシャルワーカー)・重層的支援体制整備事業の取り組み

CSW配置事業

市内に4人のCSWを配置し、個別支援と地域支援を一体的に取り組みます。

重層的支援体制整備事業

地域連携ネットワーク構築事業(地域づくり事業)

地域のニーズや課題の実態把握を行い、多様な地域活動が生まれやすい環境整備を進めます。

参加支援事業

地域で孤立しがちな人に社会とのつながりづくりを支援します。

個別支援



本人の不安や悩みに寄り添いながら困りごとと一緒に整理し、必要な支援につなげます。

緊急医療情報キット



緊急時の迅速な対応につなげるための、不安を抱える高齢者や障がいのある方の安心を守る仕組みとして設置を推進しています。

地域福祉懇談会



地域住民と関係者が集まり、地域の課題や困りごとについて共有し、住みよい地域づくりにつなげる話し合いの場です。

ボランティアマッチング



ボランティアをしたい方と困りごとのある方をつなぎ、住民同士支え合い、誰もが安心して暮らせる地域づくりにつなげます。

福祉教育



ふだんのくらしのしあわせについて学び、思いやりの心や支え合いの大切さを育む機会づくりを行っています。

ふれあい・いきいきサロン



子どもから高齢者まで誰もが気軽に集い、交流できる地域の居場所づくりを支援しています。

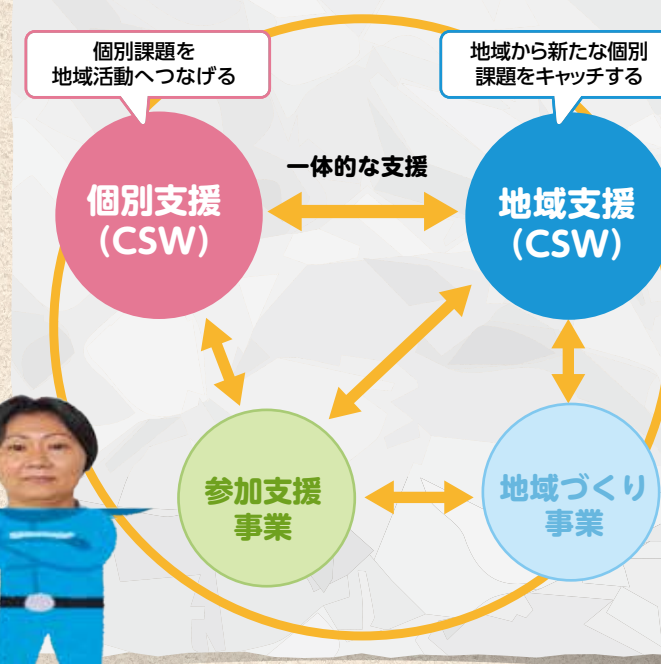
地域見守り隊



住民同士が顔見知りとなり、緩やかな見守りで支え合う地域づくりを進めています。

地域のみなさんとともに、支え合いの輪を広げ、誰もが安心して暮らせる地域づくりを進めてまいります。

CSWと重層的支援体制整備事業が連携して地域を支えます。



生活支援体制整備

地域ふれあいデイサービス

地域支えあい訪問型サービス

高齢者福祉に関する事業です。



那覇市では、“高齢者がいきいきと、支えあいのある地域の中で、安心して暮らせるまち”を基本理念に、65歳以上のすべての高齢者を対象に「那覇市介護予防・日常生活支援総合事業」を実施しています。同事業のうち、那覇市社協が担っている事業を紹介します。

サービス名		サービス内容
訪問型サービス	訪問A	生活支援訪問型サービス (緩和型ホームヘルプサービス)
	訪問B	地域支えあい訪問型サービス
		市指定の研修を受けた者による身体介護をとまなわな い生活支援のみのサービス 60分以内/回
		住民ボランティア(生活支援サポーター)による、ちょっ とした困りごとの生活支援 30分程度/回

※那覇市チャージンじゅう課 発行 「那覇市 介護予防・日常生活支援 総合事業 で チャージンじゅう！」 より一部抜粋

那覇市社協では、

生活支援 体制整備事業

担当が配置されています。

私たちは、地域に不足する生活支援・介護予防サービスの創出や担い手の養成、多世代の地域住民を担い手と活動する場の確保などの「資源開発」や、多様な関係者間の連携・体制づくりなど「ネットワーク構築」、また、支援ニーズに合わせた活動との「マッチング」に取り組んでいます。



地域ふれあい デイサービス事業

担当が配置されています。

地域の公民館や集会所などを拠点に、地域住民や自治会、民生委員、老人クラブなどで構成する「運営協議会」(市内134か所)と、本会から派遣される健康づくり支援員・看護師が協力し、65歳以上の方々の健康づくりや生きがいを支援しています。活動内容は、介護予防体操や歌、健康講話、ゆんたく会など様々です。



6月29日・30日の2日間には、地区別「運営協議会交流会」を開催しました。

今年度は未派遣活動(自主活動)をテーマに意見交換を行い、各地域の特色ある取り組みを学び合いました。

本事業への参加やボランティア活動に関心のある方は、本会までお問い合わせください。

地域支えあい 訪問型サービス事業

担当が配置されています。

高齢者の皆さまが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、生活支援サポーターが掃除や買い物代行などの日常生活のちょっとしたお手伝いを行う支えあいのサービスです。

対象は、那覇市在住の要支援1・2の方、または総合事業対象者の方です。利用にはケアプランの作成が必要となりますので、詳しくはお近くの包括支援センターまでお問い合わせください。

本会では、生活支援サポーターの養成をはじめ、包括支援センターと連携した利用者とのマッチングや、サポーターの活動支援を行っています。

現在、生活支援サポーターとして活動していただける方を募集しています。ご興味のある方は、右記案内の養成研修へぜひお申し込みください。



今年の養成研修は
訪問A・B合同で実施します。



日時:10月15日(木)・16日(金)
場所:ともかぜ振興会館 2階
対象:全日程(2日間)に参加できる18歳以上の方
受講料:無料
お申込み先
☎:098-857-7766
mail:nahasc1@nahasyakyo.org

テキストを
配布(座学)

【事業総括】

令和7年度は下記のI～Ⅵの6つの重点項目を掲げ、地域社会の現状や国の施策を注視しながら、各事業の目的達成に向けて職員間の連携を一層深め、事業の推進に取り組んでまいりました。

I. 重層的支援体制整備事業に向けた協働による取り組み

(コミュニティソーシャルワーク機能の強化)

包括的支援体制の構築に向けた「重層的支援体制整備事業」への移行準備期間として位置づけ、福祉政策課との定期的な意見交換を通じて事業の進め方や役割分担を協議し、令和8年度から同事業において「地域づくり事業」及び「参加支援事業」を受託することとなり住民同士の支え合いを促進する体制整備を進めました。

Ⅱ. 権利擁護支援センター設置に向けた総合相談支援体制の構築

成年後見制度の利用促進に向けて社会福祉士会と連携した相談窓口を新設しました。食支援では、フードドライブ協定企業を拡大し、支援につながる仕組みを強化した結果、令和8年度には一部補助金の交付が認められるなど、事業拡充に向けた基盤が整いつつあります。

Ⅲ. ボランティア活動支援の強化と地域活動の人材育成及び担い手確保

各種講座の開催や活動マッチングを通じて地域人材の育成に取り組みました。また、行政、民生委員・児童委員、福祉団体、自治会、校区まちづくり協議会等との会議や懇談会を通じて地域課題を共有し、連携強化と課題解決に向けた取り組みを進めました。令和8年度からは、ボランティア市民活動センターの機能を新規事業である「地域づくり事業」に統合し、事業運営の効率化を図ります。

Ⅳ. 指定管理等拠点を活かした地域福祉の推進

老人福祉センター、児童館、総合福祉センターの指定管理2年目として、各施設の機能を活かした事業を展開しました。特に総合福祉センターは創立30周年を迎え、記念事業や記念誌の発行を通じて歩みを振り返るとともに、今後の役割や展望を広く発信し、地域住民とのつながりと信頼関係の強化につなげました。

V. 第3次那覇市地域福祉活動計画の進捗管理

第3次那覇市地域福祉計画は2年目を迎え、計画に基づく事業を着実に推進し、地域福祉審議会からも概ね良好な評価を得ています。一方で、課題が見られる事業については内容や手法の見直しを行い、より効果的な展開を図るべく改善を進めています。

Ⅵ. 法人運営の経営改善と自主財源の充実強化(中期経営計画の策定)

経営改善では、行政との協議を重ね、補助金や受託事業の増額につながり、一定の成果が得られました。自主財源確保では7年ぶりにチャリティーカラオケを実施しました。介護保険事業は依然として厳しい状況にあるものの、欠員補充により収支は改善傾向にあり、繰越金の充当も減少しました。

今後も安定的な運営に向けた経営判断が求められ、人員確保と収益改善に取り組めます。中期経営計画の策定に向けて、外部コンサルタントと連携し事業精査を進め、令和8年度には局内プロジェクトチームを設置し、令和9年度以降の3年間を見据えた計画策定を進めてまいります。



【事業報告の目次】

1. 組織基盤の整備

2. 地域福祉活動の推進

3. ボランティア活動・福祉教育の推進

4. 広報活動の推進

5. 福祉関係団体活動の支援・助成

6. ふれあいのまちづくり事業(市補助)

7. 生活困窮者に対する相談支援

8. 権利擁護支援の推進

9. 障がい者相談支援・福祉サービス事業の推進

10. 子育て支援事業の実施
11. 介護サービス事業の推進

12. 那覇市総合福祉センターの指定管理運営(市受託)

13. 那覇市老人福祉センター及び老人憩の家の指定管理運営(市受託)

14. 那覇市児童館の指定管理運営

15. 沖縄県共同募金会那覇市共同募金委員会の運営

16. その他の事業

令和7年度 決算報告(単位:円)

資金収支計算書		
事業活動収入計 ①	672,626,858	
事業活動支出計 ②	686,961,943	
事業活動収支差額 ③=①-②	△ 14,335,085	
施設整備等収入計 ④	0	
施設整備等支出計 ⑤	3,012,460	
施設整備等収支差額 ⑥=④-⑤	△ 3,012,460	
その他の活動収入計 ⑦	75,565,855	
その他の活動支出計 ⑧	67,969,665	
その他の活動収支差額 ⑨=⑦-⑧	7,596,190	
当期資金収支差額合計 ⑩=③+⑥+⑨	△ 9,751,355	
前期末支払資金残高 ⑪	115,557,270	
当期末支払資金残高 ⑩+⑪	105,805,915	

貸借対照表			
借 方		貸 方	
流動資産	198,488,448	流動負債	106,001,044
固定資産	336,237,164	固定負債	101,341,100
		基本金	3,000,000
		国庫補助金等特別積立金	0
		その他積立金	226,107,277
		次期繰越活動収支差額	98,276,191
計	534,725,612	計	534,725,612

令和7年度の事業報告と決算報告がまとまりましたので、報告します。
全文は右の二次元コード(那覇社協HP)から閲覧・ダウンロードできます。



事業活動計算書		
サービス活動収益計 ①	668,353,657	
サービス活動費用計 ②	697,012,953	
サービス活動増減差額 ③=①-②	△ 28,659,296	
サービス活動外収益計 ④	4,273,201	
サービス活動外費用計 ⑤	0	
サービス活動外増減差額 ⑥=④-⑤	4,273,201	
経常増減差額 ⑦=③+⑥	△ 24,386,095	
特別収益計 ⑧	40,864,575	
特別費用計 ⑨	42,756,205	
特別増減差額 ⑩=⑧-⑨	△ 1,891,630	
当期活動増減差額 ⑪=⑦+⑩	△ 26,277,725	
前期繰越活動増減差額 ⑫	109,236,197	
当期末繰越活動増減差額 ⑬=⑪+⑫	82,958,472	
基本金取崩額 ⑭	0	
基本金組入額 ⑮	0	
その他の積立金取崩額 ⑯	30,799,240	
その他の積立金積立額 ⑰	15,481,521	
次期繰越活動増減差額 ⑱=⑬+⑭+⑮+⑯-⑰	98,276,191	

財産目録			
流動資産	198,488,448	流動負債	106,001,044
固定資産	336,237,164	固定負債	101,341,100
資産合計	534,725,612	負債合計	207,342,144
		純資産	327,383,468

